

新しい薬

2021年6月にFDA(米国食品医薬品局)で迅速承認されたアデュカヌマブ(製品名アデュヘルム、1ヶ月に1回点滴静注)に加え、2023年1月にレカネマブ(製品名レケンビ、2週間に1回点滴静注)が迅速承認されました。可溶性および不溶性アミロイドβ凝集体に対するヒト化モノクローナル抗体薬(monoclonal antibody→mab を語尾につける従来ルール)で、アミロイドβ(抗原=目印)にだけ結合することで、免疫細胞を通じてアミロイドβ(レカネマブはアミロイド線維の伸長、アデュカヌマブは凝集の第2段階)の凝集を阻害すると考えられています。アミロイドβがアミロイド斑になるのを防ごうという作戦です。日本円換算でアデュカヌマブは610万円/年、レカネマブは350万円/年かかります。

アデュカヌマブ・レカネマブともにアミロイドβの除去は確認できましたが、認知機能の低下を遅らせる効果はわずかでした。すでに進行した症状を回復させる効果ではなく、症状悪化を遅延させる効果であることにも注意が必要です。